



第 108 号(平成 30 年4月6日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は次の方々に長野県の山岳地域で発生した遭難事例を原則的に 1 週間ごとにお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。

- ◇お客様と接する登山用品店舗スタッフの方
- ◇インターネットの登山情報サイトを利用される登山者
- ◇長野県内の各地区山岳遭難防止対策協会

★春の山火事予防特別強化中です。詳細は巻末をご覧ください。

平成 30 年中の山岳遭難発生状況(平成 30 年1月1日～3月 25 日)

BC(バックカントリー)は、登山行為を伴う「スキー(スノーボード)登山」と登山行為を伴わない「ゲレンデ外滑走」の総称。

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)外国人
平成 30 年	32	7	1	20	16	44	6
平成 29 年	41	10	1	20	21	52	17
前年同期比	-9	-3	0	0	-5	-8	-11
内)BC	-10	-1	+1	-2	-15	-17	-11

山域別発生状況

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高		0.0%				0	
	後立山	9	28.1%	3	1	3	5	12
	その他	1	3.1%				2	2
	計	10	31.3%	3	1	3	7	14
中央アルプス	3	9.4%	1			2	3	
南アルプス		0.0%						
八ヶ岳連峰	10	31.3%	3		10	5	18	
その他の山岳	9	28.1%			7	2	9	
計	32		7	1	20	16	44	

態様別発生状況

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	9	28.1%	5		11		16
転倒	5	15.6%			5		5
病気	2	6.3%				2	2
道迷い	6	18.8%				8	8
落石		0.0%					0
雪崩	1	3.1%	1				1
落雷		0.0%					0
疲労凍死傷	2	6.3%				5	5
不明・他	7	21.9%	1	1	4	1	7
計	32		7	1	20	16	44

男女別・年齢別比率

区分	男性					(人) 比率	女性					(人) 比率	男女計		
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率	
19歳以下					0	5人 16.7%				3	3	7人 50.0%	3	12人 27.3%	
20代					0					2	2				2
30代			4	1	5		1			1	2				7
40代	5	0	5	2	12	19人 63.3%			3		3	6人 42.9%	15	25人 56.8%	
50代		1	3	3	7				2	1	3				10
60代	1		3	2	6	6人 20.0%				1	1	1人 7.1%	7	7人 15.9%	
70以上					0						0				0
計	6	1	15	8	30		1	0	5	8	14		44		
比率	68.2%						31.8%								

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	概要
3月20日	北アルプス 鹿島槍ヶ岳	39	男	道迷い	無事救出	山頂から下山中、道に迷い行動不能
		56	男	道迷い	無事救出	

17日から北アルプス鹿島槍ヶ岳に入山していた男性2名(Aさん39歳、Bさん56歳)が、道に迷い行動不能となる山岳遭難が発生し、県警山岳遭難救助隊員が救助活動して、24日県警へりで救助しました。

3月25日	ハヶ岳連峰 阿弥陀岳	48	男	滑落	死亡	阿弥陀岳南稜を登攀中、7名全員が滑落し、死傷
		39	女	滑落	死亡	
		63	男	滑落	死亡	
		47	男	滑落	負傷	
		56	男	滑落	負傷	
		44	男	滑落	負傷	
		40	女	滑落	負傷	

25日、ハヶ岳連峰阿弥陀岳南稜付近で、男女7人が滑落して、男性2名、女性1名が死亡、男性1名が重傷、男性2名、女性1名が軽傷を負う山岳遭難が発生して県警へりで救助しました。



上記遭難現場の状況

山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

これからの残雪期は、ハヶ岳や北アルプスでバリエーションルートに挑戦する登山者が多くなってきます。この時期に登山する際は、事前にルートを調べるとともに、経験者と一緒に登攀(とうはん)するようにしましょう。また、ロープワーク、支点構築、アイゼンによる歩行等を事前に訓練を行ってから、入山するようにしましょう。「自分の身は、自分で守る」ことが、安全登山につながります。

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

◆春の山火事予防特別強化中！（平成 30 年3月 12 日(月)～4月 11 日(水)）

春先は、特に空気が乾燥し、強い風が吹くことから、山火事が起こりやすい時期です。

長野県では、昨年度の県消防防災ヘリコプターの事故を受け、上空からの消火が必要な火災等に対応するため、ヘリコプターの運航再開に向けた訓練に取り組んでいるところですが、「山火事を発生させない！」ため、登山者の皆様も例年以上に火の取り扱いにご注意いただくようお願いします。

山菜取りや登山、ハイキングなどの野山に出かける際には、タバコやたき火などの火は確実に始末し、火の取り扱いにはくれぐれも気を付けてください。

【次のことに十分気を付けてください】 ※火の取り扱い不注意から山火事多発中！

- ① 枯れ草など燃えやすいものがあるところでは、たき火をしないこと
- ② たき火など火を使用しているときは、その場を離れず、使用後は完全に消化すること
- ③ 風が強い日や乾燥している日は、たき火はしないこと
- ④ たばこは指定された場所で喫煙し、吸いがらは必ず消すとともに、投げ捨てないこと



万が一、火災が発生しているのを見つけた場合は、ただちに 119 番に通報してください。
また、火や煙に巻かれないように身の安全を確保してください。

* 本通信に関する質問・意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝